

OB・OGの働き方～働くとは～（連合東京 吉松龍一）

pdfのスライド内容を説明しているものになります。

スライドのみで意味が分からない部分があれば、参考にしてください。全て読む必要はありません。スライドのページ番号とリンクしています。

※大事な箇所を下線や赤文字で記載しているので参考にしてください。

■スライド1p

■スライド2p（自己紹介）

自己紹介です。名前は吉松龍一と申します。学歴や職歴はスライドをご覧ください。

なぜ僕が今回話すことになったのか。職歴です。

色々失敗したり、悩んだことが多かったです。だからみんなにはそうなって欲しくないと思っています。みんなが社会に出る前に、社会に出て悩んだときに、今日のプレゼンを頭の片隅にでも残してもらえればと思います。

■スライド3p

テーマは2つ「就活」と「就職」です。

「就活」では、どんな風に就活をしたのか、みんなが就活する時にこうしたらいいのでないか？ということをお伝えします。

「就職」では、実際に自分が経験したリアルな社会経験についてお話しします。そこから就活で選ぶ初めての会社の大切さに「今」、気づいて欲しいなと思います。

■スライド4p

先に伝えたいことを言っときます。この2つです。

就活では、あとで後悔しないこと

就職では、自分で決めた会社を続けること

これはあくまでも理想です。現実的な部分をこれから説明していきます。

■スライド5p

なし

■スライド6p

まず、就活の流れになります。内定までには3つのステージがあります。まず受ける会社を探すのが説明会、良いなと思ったらエントリーシートを記入して、面接を何回か受けて、うまくいけば内定という流れです。ここで言いたいのは図に点線が書いてあるんですが、これは内定出なかったら続くという意味です。次のスライドで説明します。

■スライド7p

僕が就活をした2013年は12月が就活解禁日でした。（現在は3月から就活解禁）

12月から就活が始まって、うまくいけば4月中には終わります。しかし、そこで内定が出なかったらズルズルこの①②③がループしてしまうってことを理解して欲しいんです。4月の時点で多くの企業の採用は終了します。つまり、2ループ目は、少ない企業の中から自分の行きたい企業を見つけ出さなければなりません。これは大変なことで途中で嫌になってしまうと思いま

す。だからこそ、最初の①②③の部分を大事にして欲しいんです。そのためには行きたい会社をちゃんと調べ受けることが大切です。

■スライド 8p

これは実際に僕が就活をした流れを表したものです。ここで伝えたいのは、4月末ぐらいからまた説明会に行っています。つまりこれは失敗です。4月末の時点から会社を探さなくてはなりません。一つ前のスライドのループの2回目を経験してしまったということです。

■スライド 9p

失敗しないために、どうしたらうまく就活を進めていけるのか？どうやって行きたい会社や良い会社を早く見つけられるか？ということに絞って進めて行きます。その答えは「情報収集」だと僕は思います。

■スライド 10p

この4つが情報収集です。自分が実行したことですし、誰もが行動に移せることだと思います。特にこの中でも、明治のOBとして伝えたいことは2つ。キャリアセンターのOBたちの就活記録の閲覧と四季報について。とりあえず一通り上から説明していきます。

■スライド 11p

人材会社のイベントとは、マイナビ・リクナビなどの就活サイトが提供してくれるイベントです。違いは大規模か小規模か。どちらも良さがあると思います。自分に合ってる方に行ってください。個人的には大規模の方は会場も広く歩き疲れてしまうので、小規模の方がじっくり聞けるかなと思います。就活の時期になると土日だけじゃなく、平日も合同説明会は行っています。ネットで「合説どっとこむ」と検索すれば、まとめサイトがあるのでそれを活用してみてください。

そして「個別説明会」これは会社が独自に行う説明会です。会社によってはこの個別説明会にいかないと選考に進めないところも多いので注意してください。

■スライド 12p

次は学内セミナーについてです。明治も就活に対して、色々なイベントを行なっています。代表的なものを3つあげました。「OB社員との交流会」は時間が合えば行ってみた方が良いと思います。説明会とは異なり、明治大学のOBの方が出席してくれるので、大胆な質問をしても答えてくれるかもしれません。

■スライド 13p

キャリアセンターについてです。大学会館の2Fにあります。面接やエントリーシートの添削は、就活の時期になると就活生が多く混雑してました。1限などの早い午前中の時間帯に行った方が良いと思います。

そして「**OBの就活記録の閲覧**」です。キャリアセンターに入って、左側の部屋の棚にたくさん
のファイルがあります。そのすべてが就活記録になります。

会社別に記録されており、何時面接までであったのか、面接時にどんな質問を受けたのかなど、明大生OBの生の声を集めた、重要な情報が満載です。一度は見てください。

■スライド14p

最後に**四季報**です。

これは是非みなさんに使って欲しいなと思います。地下の書店にも必ず置いてあるので、使ってみてください。見ていただいたら分かると思うんですが、約1100ページあり、1社についていろんな情報が盛り込まれています。公正な情報とは、良い情報も悪い情報も記載されているということです。説明会では、企業は就活生にPRするためにいい事を言いますが、四季報では公正なデータが掲載されています。

■スライド15p

これが四季報の表紙になります。

■スライド16p

これが目次になります。業種別に引けるのでわかりやすいです。例えば、素材メーカーの中でも化学関係の会社に行きたいと思ったら、化学関係の会社の欄を見れば、それに関連するたくさん会社名を知ることができます。そこから、会社名を検索して会社HPを見たり、説明会に行ったりすれば、効率よく情報収集ができると思います。

別に行きたい業界がなかったとしても、どんな会社があるのかを知る手段になると思います。

■スライド17p

中身はこのように掲載されています。

例えば、赤く囲った箇所①では採用人数と3年後離職率が書いてます。ここは重要です。ブラック企業の定義は色々あると思いますが、採用数が多くて、短い期間でやめる人が多い会社は危ないのではないかと思います。②の赤い枠では、内定までの選考プロセスが記載されています。通過率の欄には「ES50%」と書いてあり、エントリーシートを出したら50%ぐらいの人は通るということまで記載されています。③の赤い枠では、有給はどれくら取れるのか？年収はどれくらいか？ということが大体把握できると思います。

■スライド18p

すべての会社が情報を掲載してるとは限りません。

赤く囲んだ箇所に「NA」となっています。NAとは非公開という意味です。その時になぜ非公開なんだろう？と疑っても良いのではないかと思います。良い情報はいうけど、悪い情報は言わないのでは？と考えるのも一つの手手段だと思います。

■スライド19p

これはおまけで載せました。就活でも筆記テストがあります。大手企業では、応募者が多いため、筆記テストでふるいに掛けます。テストの種類によって、問題形式なども異なります。テストにもいろんな種類があることだけ認識してください。SPIは聞いたことあるけど、他のものは知らないと自分の就活を始めた当初は思ったので、伝えました。

■スライド20p

最初に伝えたいこととして、「あとで後悔しないこと」(理想)と伝えましたが、現実的にはできるだけ後悔するなということです。早めに会社を見つけなければ、手遅れになる可能性が高いと思います。こんな会社あったのか、あの会社も受ければよかったと思うんです。みんなには後の祭りになって欲しくないです。

また就活始まったら色々凹むことあると思うし、面接の時ああ言っとけばよかったとか失敗することもあると思うんです。けど、それをできる限り少なくするためにも、自分の中で真剣に取り組んで「できるだけ後悔して欲しくない」と思います。

■スライド21p

次、就職について話します。僕のリアルな社会経験について話します。そこから就活で選ぶ初めての会社の大切さに「今」、気づいて欲しいなと思います。

■スライド22p

最初に今までの経歴を書きました。新卒で6ヶ月、次の会社で2年半、そして連合東京という流れになります。何かこれを見て疑問に思いませんか？なぜ新卒の会社を6ヶ月で辞めた？なぜ2社目も辞めた？って疑問に思いますよね。それについて今から伝えていきます。

■スライド23p

まず概要です。新卒で入った会社は食品メーカーで、従業員4300人と大きな会社でした。職務内容は営業で、都内エリアの営業をしてました。さっきの話に戻りますが、なんで辞めたのか？を次のスライドで説明します。

■スライド24p

体が持たない。これが原因でした。もともと体が弱かったわけでもなく、アルバイト経験がなかったわけでもありません。高校や大学時代には、1つのアルバイトを3年続けていました。6ヶ月で体が持たないって疑問に感じる人も多いと思いますので、当時の自分の1日について話します。

■スライド25p

大体こんな感じでした。朝は5時に起きます。準備して会社には7時ごろには出勤してました。仕事の準備をして9時には社用車に乗って営業活動へ出発し、夕方7時ごろに会社に戻り、そこから事務作業や明日準備を行うと、大体9-10時ごろに退社します。そこから電車に乗って帰宅し、夕飯や風呂に入ったりすると夜中の1時半ごろに眠りにつくことになります。このようなルーティーンを毎日こなしてました。

■スライド26p

つまり、こういうことです。24時間の内、14時間ほど仕事に時間を使っています。睡眠時間も4時間ほどしか寝れない状況が続いていました。

■スライド27p

体が持たないということは、仕事にも支障をきたします。例えば、車の運転中に睡魔に襲われるとは、信号待ちの時に起きました。赤信号から青信号に待ってる間に、眠くなってしまうんです。青になっても気付かず、後ろの車にクラクションを鳴らされました。常に眠い状況が続いているということは、頭が働いてないと思います。商品の計算がうまくできなかつたり、議事録や日報報告の文章がうまく書けなかつたりしました。また、人と話すことが疲れると感じてしまい、とても内向的な状態に陥っていました。

■スライド28p

とは言っても、会社を辞めることに悩みます。いろんなことで悩んで、会社を続けなければならぬと思うんです。多分みんなも同じ状況になったとしたら、そう悩むと思います。

■スライド29p

そしたら、とりあえず相談しないとツライですね。だから僕もそうしました。もし悩んだら、相談できる人や方法はできるだけやったほうがいいと思います。

しかし「親」に相談することは、僕にとっては気が引けました。自分が社会人になるまでたくさん迷惑・お金かけて育ててもらったのに、そんなことは言えないなと思っていました。しかし、僕にとっては母親への相談が、仕事を辞めることができた大きなキッカケになりました。

■スライド30p

親の一言「いつ辞めるっていうのかなって思ってたよ」

その時の状況の僕には、この言葉にとっても助けられたなと今でも痛感しています。この言葉のおかげで、会社を辞める決心ができました。

■スライド 31p

しかし、次の仕事先を見つける必要があります。平日は全く仕事を探せないなので、休みの土日に会社を探したり、面接に行ったりしてました。

これもこれで、ツライんです。面接に行っても「なんで半年で辞めようと思ったの？」って必ず面接官に聞かれました。その際には正直に理由を伝えていましたが、理解してくれる会社も少なかったです。

だからこそ、みなさんには新卒時にちゃんと会社を選んで欲しいなと思います。

■スライド32p

そんな中で、次の会社に入社することができました。中小企業の家電メーカーになります。扇風機や電気ストーブを製造している会社になります。従業員は25名でした。仕事は営業・事務・商品管理など色々やりました。中国で製造した商品を国内の自社倉庫に運んでましたので、商品の荷下ろし作業なども行いました。大変な部分もありましたが、いい経験になったと思っています。

■スライド33p

じゃあ、なぜ2社目なのに辞めたのか？これが結論です。「2年半勤めた間に、16人も社員が辞めたことに対する不安感」です。25人の会社で2年半のうちに16人が辞める状況ってイメージできますか？とても恐怖を感じることです。

■スライド34p

例えば、人事異動についてです。入社した会社は社長が一代で築いたこともあり、ワンマン経営を異常なまでに体現したような会社でした。経理で8年も勤めていた人が、人が足りないという理由だけで倉庫業に異動になる。全くキャリアの違う仕事に業務命令として異動を命じる。このような人事異動が日常茶飯事に起きていました。

「入社後、即クビ」という内容は、朝の朝礼時に社長が話をするのですが、入社一週間未満の社員が少し目をつぶっていたんです。それを見つけた社長が、その場でクビ宣告を伝え、その日のうちに彼の席の荷物を片して、次の日からの出社を認めませんでした。

「営業は社長の補佐」という意味は、基本的に営業交渉は社長が行います。営業の醍醐味は交渉だと僕は思います。あくまでも、社長の言われたことをやるのが、ここの営業では求められていました。

■スライド35p

いつ自分がクビにさせられてもおかしくない状況がとても不安でした。またこの会社に20、30年以上も続けていく自信がありませんでした。そこで再度、もう最後として、転職を決意しました。1社目で会社を続けたまま転職したことが、失敗に繋がったと感じ、今回は退職後に転職活動を行いました。そこで自分はどんな仕事をしたいのか？将来どうなっていたいのか？ということに大学生の就活の時、考えなければいけなかったことを、真剣に考え直しました。

■スライド36p

その結果、縁もあり、今の連合東京に就職することができました。

■スライド37p

理想として自分で決めた会社は続けて欲しい。それができるに越したことはないと思います。しかし、もし自分の体に支障をきたすなど、逃げなければならないと感じたのであれば、辞めてしまった方が良いでしょう。まず、その時は相談して下さい。人に話して下さい。その時、すごい悩むと思うので、自分が弱かったと悲観するのではなく、辞めることを自分自身で許す気持ちを忘れないでください。

■スライド38p

本日伝えたいことを最後に今一度、まとめます。

就活では、情報を集めてできるだけ後悔しないこと。

就職では、戦略的撤退であれば、自分の辞めるを許してあげること。

■スライド39p

最後に、講義を聞いてどう感じたでしょうか？共感する部分もあれば、自分の価値観と異なる部分もあるなど、自身の経験や考え方と比較して、様々に思う部分があったのではないかと思

います。「働く」ということは人それぞれです。これをキッカケに、**自らが働くことについて真剣に考えるキッカケになれば幸いです。**

■スライド40p

おわり